

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2233

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B12	警察署冷暖房設備改修費			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設維持管理費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	警察法			戦略項目			
						分野施策			
<p>1 事業概要</p> <p>警察署庁舎は24時間365日、閉庁することなく県民の安全安心の拠点となっている。このため、警察署庁舎の設備等が不具合により緊急に停止することは、あらゆる面で県民に悪影響を与えることになる。</p> <p>警察署の冷暖房設備は、耐用年数を超過して使用しており、劣化により種々の故障が発生している。また、メーカーによる修理対応も経年により対応が困難となってきたことから、計画的な更新整備を推進する。</p> <p>契約差金による減額                      (1) 冷暖房設備更新 11,041千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      ア 冷暖房設備更新(幸手警察署(21年経過))</p> <p>(2) 事業計画                      【冷暖房設備の更新整備】                      ア 平成28年度 浦和西警察署(20年経過)                      イ 平成29年度 熊谷警察署(第1年次)(22年経過)                      ウ 平成30年度 熊谷警察署(第2年次)(23年経過)                      エ 平成31年度 川越警察署(第1年次)(22年経過)</p> <p>(3) 事業効果                      警察署に来署された県民へのサービス、警察署勤務員の執務環境及び被留置者の処遇維持、並びに各種警察システムの効率的運転を図ることができる。                      また、省エネ機器へ更新することにより、光熱水費の削減及び環境負荷の低減が可能となる。</p> <p>(4) 補正予算の概要                      契約差金による減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>(1) 地方債の充当率 90%</p> <p>(2) 交付税措置 元利償還金について、その30%を基礎財政需要額に算入</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	11,041	県債					41	67,828	
現計額	78,869						869		